

〔類聚名義抄〕立童徒紅反

〔遊仙窟〕女子答曰兒家堂舍賤陋供給單疎

〔平家物語〕妓王事

佛御前涙をおさへて、○中もとよりわらはは推參の者にて、すでに出され參らせしを、○下

〔書言字考節用集〕人倫、吾儕自身之稱、出左傳

〔倭訓栞〕前編四十二、なわみ、吾儕をよめり、人なみといふ如し、

〔狂言記〕るぼしおり

大名やいしてそれがしが、るぼしがはげてあつたがなにとした物であらふぞ、

〔源氏物語〕中將、ながしは、しれ物のものを語をせんとて、○下

〔枕草子〕六、東宮の御使に、ちかよりの少將まいりたり、○中、御返はやなどあれど、とみにもきこえ

給はぬを、なにかし、○藤原が見侍れば書給はぬなめり、さらぬ折はまもなく、是よりぞ聞え給ふ

なるなど申給へば、○下

〔書言字考節用集〕人倫、余爾雅、己予爾雅、我我也、

〔伏見院御記〕正應三年正月一日乙巳、此間余改装束著束帶、依可有小朝拜也、

〔兵範記〕嘉應元年六月廿三日戊申、未刻參内、○中、上卿別當被候、仗座、與下官、○平、昇輿座、

〔書言字考節用集〕四、人倫、愚僧、又云、愚夫、愚身、愚拙、愚老、羊僧、敢問、實曰、羊質、而虎皮、見草、而

悅見、豹野、士野、人野、夫野、郎野、生卑、稱野、子同、野僧、沙門、野禰、上同、散人、之謂、無蓋、隱棄、

之謙、稱、出莊、昨木、隱士、事出、莊子、貧道、事見、義楚、稱拙、者賦、朱子、文集、居拙、夫、拙子、拙下、

子、唐書、韻瑞、拙僧、賤子、文選、註、人、貧道、事見、義楚、稱拙、者賦、朱子、文集、居拙、夫、拙子、拙下、

〔類聚名義抄〕五、汝而與反、ナム、チ、〔同〕九、尔介、通正、音迹、ナム、チ、

他稱